

Ⅱ 大学院博士後期課程進学外国語試験について

大学院博士後期課程進学外国語試験は、年2回各専攻で次のいずれかの方法を選択して実施されます。

- (1) 外国語試験を、改めて行わない。
- (2) 選考試験の中に外国語を含めて行うこととし、進学外国語試験としては行わない。（その詳細については、進学志望先専攻の専攻長に問い合わせること。）
- (3) 進学外国語試験を行う。（試験の詳細及び結果についての問い合わせは、進学志望先の専攻長に行うこと。）
- (4) TOEFL（コンピュータTOEFL・インターネットTOEFLを含む）およびTOEICのスコア提出に代え、筆答試験を行わない。
- (5) TOEFL（コンピュータTOEFL・インターネットTOEFLを含む）、TOEICおよびIELTSのスコア提出に代え、筆答試験を行わない。

なお、スコアシート（成績証明書）の有効期限は、当該試験願書提出期限から2年以内とする。

* TOEFL-ITPおよびTOEIC-IP等の団体特別受講制度によるスコアは利用できません。
詳細については専攻長に問い合わせして下さい。

博士後期課程進学志望者は、次ページの表を参照して、各専攻が指定する方法に従って下さい。

表：試験方法（(1)試験を行わない、(2)選考試験に含めて行う、(3)試験を行う、(4)TOEFLおよびTOEICのスコアを提出する、(5)TOEFL, TOEICおよびIELTSのスコアを提出する）

注）平成28年4月以降に進学される方の試験については、現在の専攻で実施します。博士後期課程時には、研究科・専攻が新しくなります。

